

平成19年度国立大学図書館協会賞審査結果報告

1. 応募区分 : 図書館活動における功績
2. 対象者 : 島根大学附属図書館貴重書展示・講演会及び
出版企画ワーキンググループ
3. 件 名 : 島根大学附属図書館における「貴重資料展示、講演会・シンポジウム
企画及び成果物編集・出版プロジェクト」による情報発信活動
4. 結 果 : 採択
5. 理 由

本件は、地域連携型の企画展示及びその講演会・シンポジウムを開催し、その成果の記録・公開のために図書の商業出版を企画し、『絵図の世界：出雲・隠岐国・桑原文庫の絵図』及び『教育者ラフカディオ・ハーンの世界：小泉八雲の西田仙太郎宛書簡を中心に』の図書2点を出版した情報発信活動である。

地方の中規模大学一機関では、なかなか実現が難しい企画展示、講演会・シンポジウム、高解像度の貴重書データ、図書の出版といった一連の事業を地域の研究者や出版社と連携して企画・実施し、成果物として、2冊の図書を出版したことは、図書館のリーダーシップを大いに発揮した功績によるものである。さらにこれらの事業に続くものとして、医学分館でも同様の事業を展開しており、全館をあげて図書館活動を活性化させている。

島根大学のこれら一連の情報発信活動は、次の点で「国立大学図書館協会賞選考基準」第4条第1項第2号に該当するものとして国立大学図書館協会賞に推薦する。

- (1) 多くの大学図書館で展示会が開催され、また展示会に付随した講演会やシンポジウムも開催される。それに伴って展示会の図録は印刷配布することは多いが、講演会やシンポジウムの内容は含まれていないといつてよい。島根大学附属図書館が企画した『絵図の世界』及び『教育者ラフカディオ・ハーンの世界』においては、講演集が図録と一緒に活字化されたことで、より完全な形で展示会のコンテンツを残したことは他に例がみられず、その記録性を高めたこととその独創性は評価できる。
- (2) 国立大学の図書館が商業ベースで出版物を刊行することについて、所蔵する文庫目録の類、貴重資料の写真・復刻、及び情報リテラシー関連等の図書には例がみられるが、展示会（講演集を含む）の図録を商業出版した事例としては貴重なもので、島根大学附属図書館が企画した展示会及び講演会の図録を民間出版社から刊行したことは、新しい事業として評価に価する。また、企画段階から、出版社と一緒に行うことによって、「わかりやすさ」や「市場性」に配慮し、商業ベースにのせることで一般市民も入手しやすくなり、学術情報の発信効果を上げたことは、他大学の範となる。
- (3) 『教育者ラフカディオ・ハーンの世界』の展示会及び図書の発行については、自館が所蔵する資料のみではなく、国立大学4大学、公共機関4機関、その他の団体や個人といった多くの学外機関等の史料も展示、翻刻・翻訳することによって、内容をより充実させることに成功している。地方の中規模大学が、展示会から図書の出版までの一連の事業を実現するために、遠方の多数の機関との連絡調整や資料の借り出しなどにおいて果たした図書館の役割は非常に評価できる。